



「医療専攻」便り

三条東高等学校 Vol. 1 (令和4年10月31日)

医療専攻7期生活動内容 (活動期間 令和4年4月～令和5年3月)

＜活動報告＞
4月～9月

●医療専攻講演会① 5月19日(木) 16:00～17:00

講師：新潟医療福祉大学 准教授 牧口 智夫 様

演題：医療技術の進歩と倫理について

内容：不妊治療、クローン技術、再生医療、ゲノム編集の現状と可能性について、歴史的経緯やユニークなエピソードを交えて、わかりやすく講演いただきました。



その一方で、医療技術は人間の尊厳をおびやかすほどに進歩していて、「医療に従事する者にはこれまで以上に高い倫理観が求められる。倫理観を保ち続けるには『考えることを止めない』ことが大切である。」と熱く語っておられました。

●医療専攻講演会② 6月17日(木) 16:00～17:00

講師：済生会三条病院 看護部長 池 穂波 様

演題：看護師のキャリア形成

内容：済生会病院のこと、医師と看護師の役割の違い、やりがいなどについて、三条東高校の卒業生であるご自身の実体験を踏まえて語っていただきました。資格を取ることがゴールではなく、看護師になったら覚悟を決めて歩いていくことが大切である。与えられた環境の中でできることは何か、自分で見つけて実践していくことが自分自身のためになり、患者のより良いケアにつながっていくことなどをとても分かりやすく説明していただきました。



●医療専攻講演会③ 7月7日(木) 16:00～17:00

講師：三条地域振興局健康福祉環境部 地域保健課
課長代理 白井 亜紀 様

演題：地域包括ケアシステムと多職種連携

内容：以下の1～5の内容について講演いただきました。

- 1 はじめに・新潟県の保健所と保健師のご紹介
- 2 私たちが住む地域の高齢化の現状
- 3 地域包括ケアシステムと多職種連携
- 4 多職種連携の取り組みの実際～県央地域の事例から～
- 5 おわりに～すべての人が対象の地域包括ケアシステムへ～

保健師という職業についてのお話に始まり、地域高齢化の現状に対し、地域包括ケアシステムの導入についてわかりやすく講演いただきました。全住民を対象とした地域包括ケアシステムを取り入れた「地域共生社会」の実現が、これからの社会に必要であると熱く語っておられました。



●医療専攻講演会④ 9月1日(木) 16:00～17:00

講師：新潟青陵大学 看護学部看護学科 准教授 和田 由紀子 様

演題：小児看護

内容：小児看護についてわかりやすく講話をしてくださいました。コロナ禍ということで、今回はリモート講演でした。



小児看護の定義・目的に始まり、小児の特性を理解することが必要であると思いました。病院内の事例について、入院している子どもに注意を払うことはもちろんですが、家族(養育者)へのケアも必要であるということです。

小児看護では、子どもの成長発達段階に応じた関わり方が大切であると分かりました。